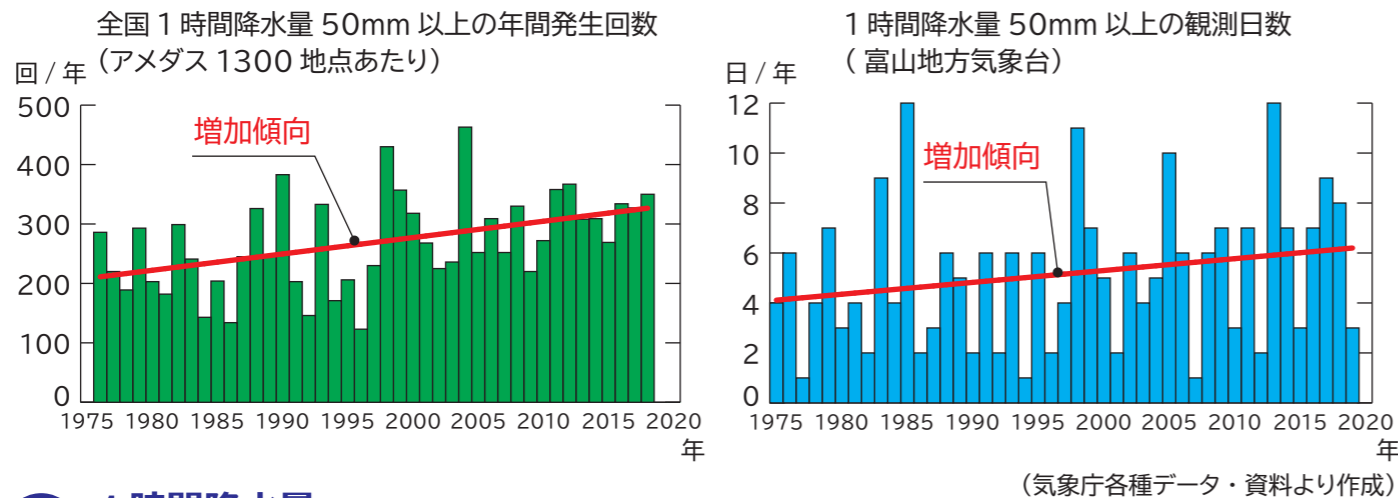


# 洪水を知って避難しよう

## 近年では非常に激しい雨の降る回数が増えています。

地球温暖化などによる気候変動の影響だと考えられていて、今後も豪雨の発生は増加傾向です。



### 1時間降水量を意識する

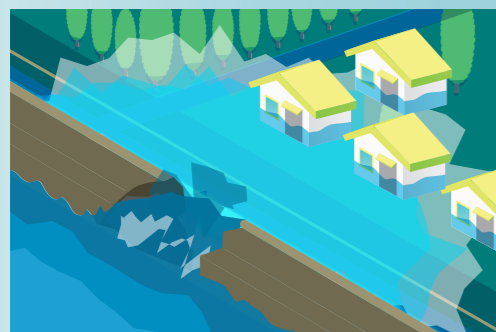
適切なタイミングで避難行動を行えるよう、あらかじめ気象情報や避難情報に注意して心構えをしておきましょう。



1時間降水量が30mmを超えると道路が川のようなこともあります。50mmでは滝のような雨となり傘も役に立ちません。このような雨の中を避難するのはかえって危険な場合もありますので、無理をせず屋内での安全確保も検討しましょう。

### はん濫の形は2つの種類があります

#### 洪水(外水はん濫)は、命にかかわる災害



台風や停滞する前線の影響など、広い範囲でまとまって降った雨が河川に流れ込むことで、河川が増水し、激しい流れとなって下流へ押し寄せます。そして、堤防を削って決壊させたり、乗り越えたりして、洪水(外水はん濫)が発生します。早期の立退き避難が必要な区域等に該当する方は、速やかに立退き避難しましょう。(4ページ参照)

洪水ハザードマップの対象はこちら!

#### 内水はん濫は、避難するときの危険



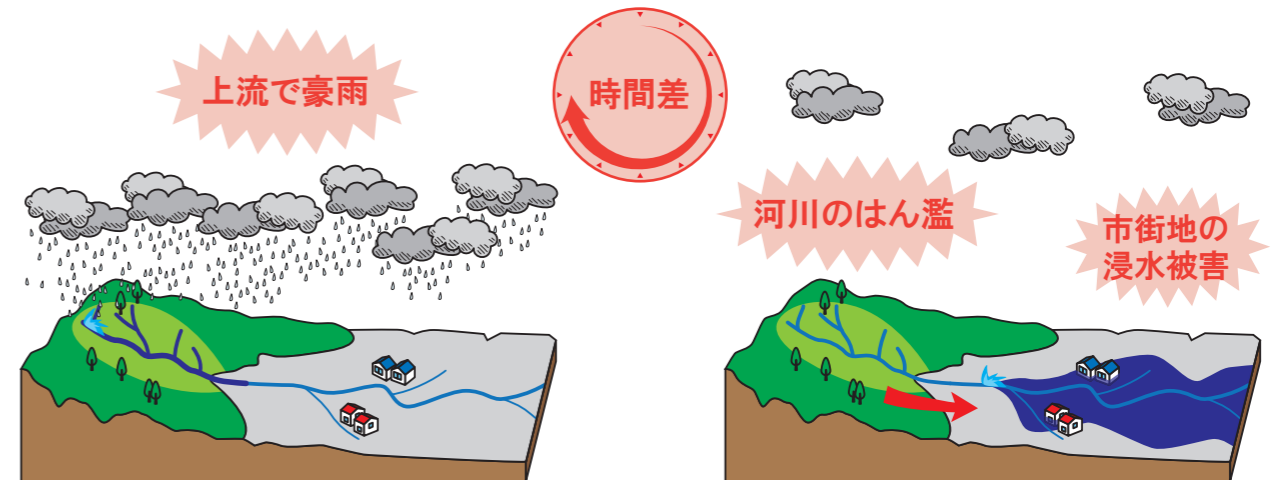
大雨や排水先の河川水位の上昇により街なかで降った雨が排水しきれない場合に内水はん濫が発生します。洪水から避難する際、すでに内水はん濫により、路面がしっかり確認できず安全な避難が困難な場合があります。平時に危険箇所を確認しておきましょう。

避難のタイミングや避難経路の選択など、避難判断に役立つ情報だね。



### 洪水は、大雨のピークで発生するとは限りません。時間差のある水位上昇に注意!

神通川では、上流部(岐阜県)で降った雨が中流部、下流部(市街地)へと伝わるのに時間がかかることから、下流部では雨のピークを過ぎて安心した頃に、一気に水位が上昇して、はん濫ということもありますので、情報収集に努め、注意しましょう。



### 降水量が増加すると、土砂災害のリスクも高まります! 洪水からの避難でも注意!

土砂災害は、洪水と同じく「降雨」を原因として発生することがある災害として、警戒が必要な箇所をマップに掲載しています。該当区域にお住まいの方は、土砂災害警戒情報にも十分注意しましょう。

洪水からの避難の際は、土砂災害の危険性が高い区域を極力通らず避難するよう安全に配慮しましょう。

#### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害によって、建物に損壊が生じ、命または身体に著しい危害が生じるおそれがあります

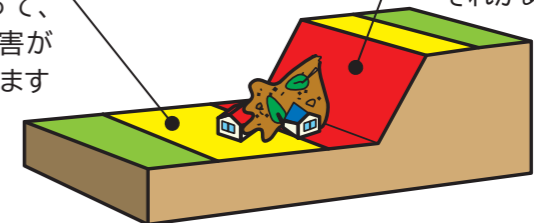
#### マップでの凡例

#### 土砂災害

- 特別警戒区域
- 警戒区域

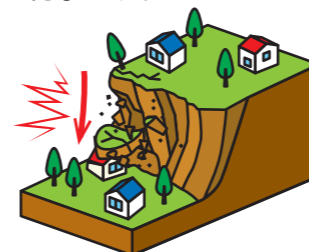
#### 土砂災害警戒区域

土砂災害によって、命または身体に危害が生じるおそれがあります



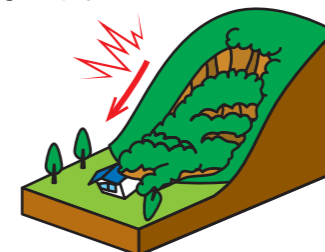
#### ● かけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

大雨などの影響で地盤が安定性を失い、突発的に斜面が崩壊する現象です。



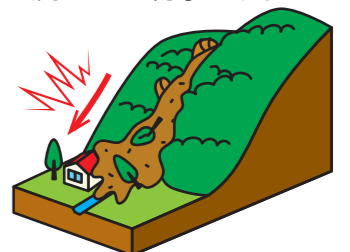
#### ● 地すべり

地下水などの影響で斜面がすべり、下方へ大きく移動する現象です。



#### ● 土石流

山腹や川底の石や土砂が、大雨などにより一気に下流へ押し流される現象です。



洪水ハザードマップでは上記3つの現象を区分せず掲載しています。詳しくは、「富山市土砂災害ハザードマップ」にてご確認ください。

洪水を知って避難しよう